

11月第2土曜日

は
やまがた教育の日

第7次山形県教育振興計画検討委員会 ワーキンググループ

オンライン “7カフェ”

<第4期実施状況>

期 日	テーマ
① 4月22日(月)	【アクション1】自ら考え、主体的に行動する力を育む
② 4月24日(水)	【アクション8】家庭や地域と一体となって子どもの学びを支える
③ 4月24日(水)	【アクション6】教育DXを実現する
④ 4月30日(火)	【アクション7】活力あふれる学校を実現する
⑤ 5月2日(木)	【アクション3】互いを尊重し前向きに生きる心と体を育む
⑥ 5月7日(火)	【アクション2】新たな価値を創造する力を育む
⑦ 5月8日(水)	【アクション4】それぞれの個性を活かし尊重した学びを実現する
⑧ 5月9日(木)	【アクション5】生涯にわたり学びやスポーツ・芸術文化活動を楽しむ

1

1 目 的

- 7教振策定に向け、将来を見据えた論点の整理を行うため、検討委員会委員や局内関係者が意見交換を行う十分な時間を確保

2 コンセプト

- 7教振の「目指すもの」「身に付けたい力」「ビジョン」などをカフェのように語り合う、「対話」と「提案」によるグループワーク

3 カフェのルール

- ・ 否定や批判をしない
- ・ 参加者は必ず1回は発言
- ・ データや成功事例等のエビデンスをできるだけ持ち寄って画面共有
- ・ あくまで意見交換の場として機能
- ・ 職名ではなく、対等な関係で「～さん」で呼び合う
- ・ メンバー外の参加や、日程になくても飛び入り参加歓迎、途中参加・退出可
- ・ まずはやってみて、改善しながら展開

4 カフェの共有

- ・ 不参加者や関係者と共有するため、カフェの模様をYoutubeで限定公開

<共有範囲>

- ・ 7教振検討委員
- ・ 7教振WGメンバー
- ・ 7教振検討委員会オブザーバー
- ・ 教育委員
- ・ 教育局幹部

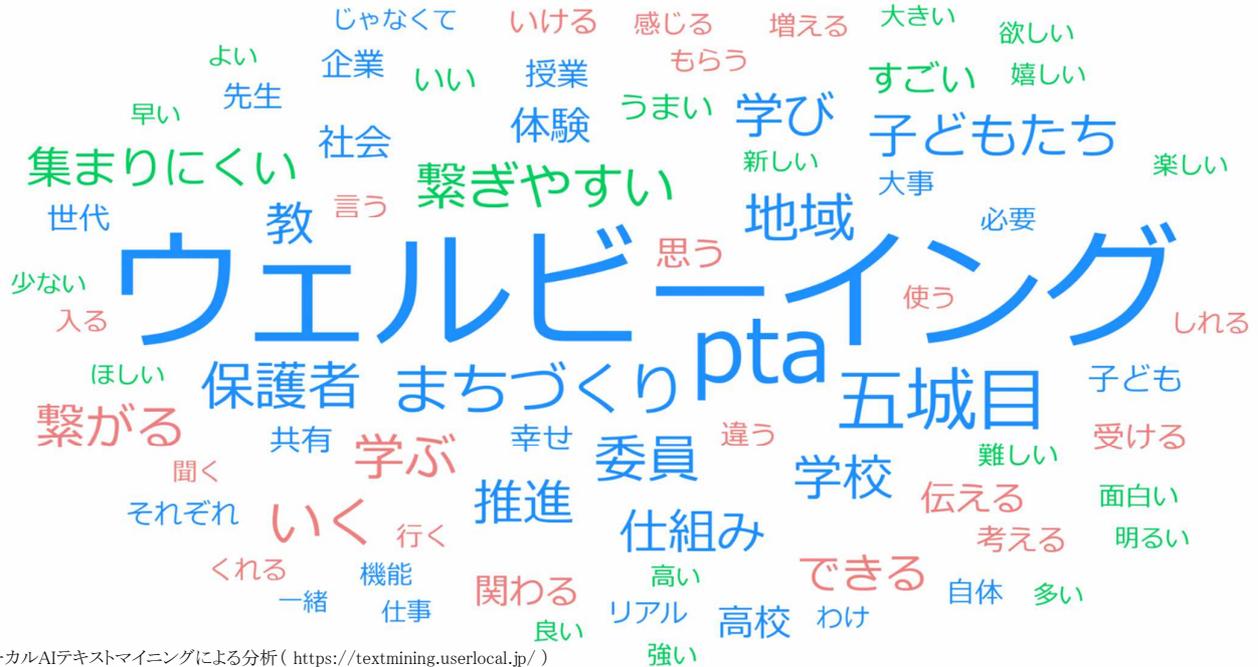
②【アクション8】家庭や地域と一体となって子どもの学びを支える

○日時 4月24日(水)

○参加者 石沢委員、教育政策課、生涯教育・学習振興課、置賜教育事務所

○コメントの一部

- ・多世代と一緒に学び合う場があるとよい
- ・温度感や目的外の発見など、実際の体験が重要
- ・子どもだけでなく大人も喜びや面白さ、意外性を感じる事が重要
- ・地域学校協働活動をうまく使うとノウハウが蓄積され効果的
- ・子どもたちが地域に出ていくことが本物を体験することにつながる



ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

5

③【アクション6】教育DXを実現する

○日時 4月24日(水)

○参加者 三浦委員長、寺脇委員、教育政策課、義務教育課、高校教育課

○コメントの一部

- ・新たな価値を生み出す学びにはDXが不可欠
- ・DXを前提とした学びの中身に変革する必要
- ・デジタル化の最大の特徴はデータ。KKD(勘・経験・度胸)からの脱却が必要
- ・遠隔教育を活用した外部人材との繋がりなど、DXで学びは時空を超える



ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

6

⑥【アクション2】新たな価値を創造する力を育む

○日時 5月7日(火)

○参加者 三浦委員長、高井委員、教育政策課、高校教育課、義務教育課、特別支援教育課、教職員課

○コメントの一部

- ・学生とギャップが生まれないう、企業もアントレプレナーシップ教育への理解を深める必要
- ・職場体験等において、子どもも企業も一緒に考え、互いに吸収し合うことでウインウインの関係を築ける
- ・新たな価値の創造において、山形らしさ、ストーリーなどが価値基準の根源になることが重要
- ・今までの価値の継承ではなく、新たな価値の創造へ挑戦する企業の姿勢を学校教育に取り入れたい



ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

9

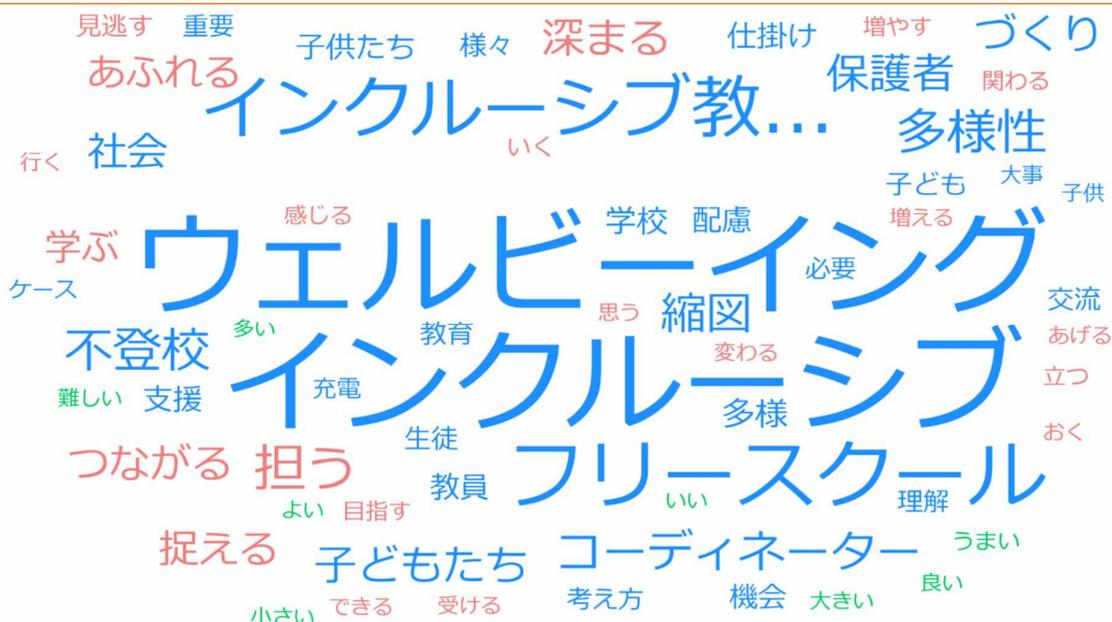
⑦【アクション4】それぞれの個性を活かし尊重した学びを実現する

○日時 5月8日(水)

○参加者 澤邊委員、高井委員、教育政策課、生涯教育・学習振興課、義務教育課、特別支援教育課、教職員課

○コメントの一部

- ・インクルーシブは、子どもの時から様々な経験や体験、多様な人たちと知り合う考え方として重要
- ・多様性について保護者も一緒に親子事業のような形で学べる機会が重要
- ・安心して話せることがモチベーションとなり他も頑張れるケースもあり、そうした居場所づくりが重要
- ・不登校は充電が必要な状態。充電がたまると何かやろうと挑戦のベクトルに行く



ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>) ※ 特別支援教育・学校・学級のワードが頻出で多くを占めるため、これらを削除して分析

10

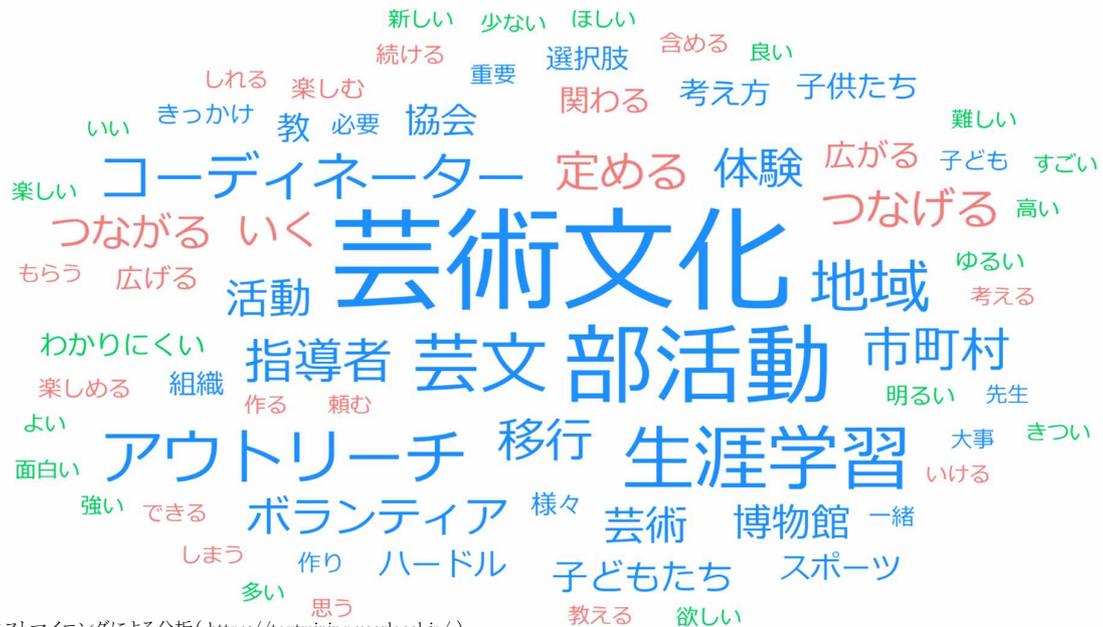
⑧【アクション5】生涯にわたり学びやスポーツ・芸術文化活動を楽しむ

○日時 5月9日(木)

○参加者 池田委員、石沢委員、高井委員、教育政策課、生涯教育・学習振興課、義務教育課、県民文化芸術振興課

○コメントの一部

- ・実際に体験に向かうためのハードルを下げる意味でも、学校教育でのきっかけ作りは重要
- ・芸術文化やスポーツも自分でやってみることが大切 ・後継者育成は長期スパンで考える必要
- ・部活動の地域移行は、大人は安全面の配慮等に留め、子どもたちに活動を委ねていくことも重要
- ・部活動として三年間やり続けるのはきついイメージもあり、兼部含め柔軟な体制が必要



ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析 (<https://textmining.userlocal.jp/>)

11

御参加いただいた皆様ありがとうございました
今後も行いますので、よろしく願いいたします。

12